

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仙台リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人仙台北学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	102 単位	9 単位	
	作業療法学科	夜・通信	99 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学園ホームページで理学療法学科及び作業療法学科毎に一覧表を公表します

【理学療法学科】

https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/

【作業療法学科】

https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人仙台北学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

在学者その他の利害関係人から請求があった場合に限り、本学園の理事等に正当な理由がある場合を除いて、これを郵送にて公表する

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	現職 学校法人理事長	自 2024 年 4 月 1 日 至 2027 年 3 月 31 日	教務全般
非常勤	現職 会社取締役会長	自 2024 年 4 月 1 日 至 2027 年 3 月 31 日	教務全般
(備考) 役員現在数 8 名（常勤理事 2 名、非常勤理事 6 名、監事 2 名）より一部抜粋			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人仙台北学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成 次年度の授業計画の立案については、前年度1月に実施する教員会議において、担当教員の選定を行います。その上で、学科毎に仮シラバスを作成し再度教員会議にて授業内容のつき合せ、学生評価が適切に実施できているかの相互確認を実施し作成します。 授業計画の公表 年度開始前に本学園ホームページにて理学療法学科及び作業療法学科の学年毎に公表するとともに、年度はじめの学生オリエンテーションにて該当学生へのシラバス配布ならびに説明を実施しています。	
授業計画書の公表方法	https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025PT1.pdf https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025PT2.pdf https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025PT3.pdf https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025OT1.pdf https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025OT2.pdf https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/syllabus-2025OT3.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価の方法

授業科目の成績評定は各学期末に行う試験・実習の成績・履修状況等を総合的に勘案して、試験やレポート・OSCE によって行います。また試験の結果は各学科責任者（学科長）によって適正に試験が実施されたか確認を得ています。最終的な単位の認定は学年末に実施される単位認定会議にて協議のもと学校長によって認定され、進級ならびに卒業が認定されます。

学修が適切になされているかを授業経過の中で小テスト等を用いて評価し、必要に応じて補習・補講を実施するなど学生の学習成果を随時確認するように努力しています。

欠席した授業については補填課題等を確実に実施し、授業内容を適切に理解した状態で単位を認定させています。

成績評価の基準

各科目の総合成績は 100 点を満点とし次の区分にて評定します。

優：80 点以上

良：70～79 点まで

可：60～69 点まで

不可：59 点以下

やむを得ず試験を受けることが出来なかった者は追試験を受験することができます。

また、不可の科目については再学習を徹底させたのち申請にて再試験を受験することができます。

授業科目の出席時間数が講義及び演習及び実習において 5 分の 4 に達しない者は、その科目について評定を受けることができません。（ただし学校長が認める正当な理由がある場合にはこの限りではありません。）

3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA による学生評価

本校における GPA 算出方法は別紙をご参照ください。

学生毎に算出された GPA は学年末に学生に交付される成績表に記載され、学生ならびに保護者へ通知されます。この時各ランクに該当学生数を記載することにより、該当学生が学年のどの位置にあるかを把握できるように努めています。（成績表見本参照）

公表方法

本学園ホームページにて客観的な指標の算出方法を公表する。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/GPAkijyun.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定について 本校の教育理念として、確かな知識と豊かな感性を育み、障害を持つ人々や高齢者のよき援助、支援者として主体的に活動できる学生の育成を目的としています。予防としての保健活動やスポーツ活動・リハビリテーション医療や地域リハビリテーションなど、全体を通して活躍する理学療法士・作業療法士の養成を目指しています。 このことから本校の卒業の認定においては、所定の授業科目のすべての試験に合格し、かつ卒業要件を満たす単位を履修したものについて卒業判定会議を経て学校長が卒業を認定します。 公表方法 本学園ホームページにて卒業の認定に関する方針を公表します。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/sotugyou.pdf

GPA 評価基準

合否区分	評価	評点	グレートポイント
合格	優（秀）	90～100 点	4
	優	80～ 点	3
	良	70～ 点	2
	可 (#可・*可・**可)	60～ 点	1
	履修済	履修済	4
不合格	不可	59 点以下	0

当校の GPA 算出方法

$$\frac{(4.0 \times \text{秀の単位数}) + (3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数}) + (4.0 \times \text{履修済の単位数})}{\text{総履修単位数 (不可の単位数を含む)}}$$

(注 1) GPA の計算は、小数点第 2 位以下を四捨五入するものとする

この基準をもとに以下の A～E のランクに分類される

ランク	GPA
A	3.5 以上
B	3.0～3.4
C	2.5～2.9
D	2.0～2.4
E	1.9 以下

【GPA を教務にいかす試み】

学期末には各学生の GPA を算出し、郵送する成績表に各ランクの人数とともに記載し、学内での自分の成績位置が確認できるようにする。

GPA の下位 1/4 (退学・休学は含めない) に対しては学業成績は要注意と認識し、原因分析と共に個別の対応を図り、保護者への連絡も実施するなど集中的な支援体制をとっていく。

(成績表 見 本)

理学療法学科 学籍番号 名前

科 目	名 称	単位数	1学年		2年		3年		GPA	科 目 分 野	名 称	単位数	1学年		2年		3年		GPA
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
☆ 基礎分野 ☆										☆ 専 門 分 野 ☆									
心理学		2								理学療法概論	☆	1							
法学		2								運動療法総論 I		1							
臨床美術		2								運動療法総論 II (演習)		1							
社会福祉学		2								運動療法各論 (演習)		2							
社会科学論		1								理学療法基本技術論		1							
医療倫理		1								臨床理学療法学		1							
情報処理		1								総合理学療法学		2							
医学英語		1								理学療法管理学		2							
精神保健学		2								理学療法評価法 I		2							
保健体育		1								理学療法評価法 II		2							
☆ 専門基礎分野 ☆										理学療法評価法 III		2							
解剖学 I (骨格)		2								理学療法評価法 IV		2							
解剖学 II (筋肉)		2								物理療法		1							
解剖学 III (神経・脈管)		2								理学療法各論 I (中枢性疾患)		2							
解剖学 IV (内臓)		2								理学療法各論 II (中枢性疾患)		2							
体表解剖		1								理学療法各論 III (整形外科)		2							
生理学 I		3								理学療法各論 IV (整形外科)		2							
生理学 II		2								理学療法各論 V (神経筋疾患)		1							
基礎運動学		2								理学療法各論 VI (発達障害)		2							
臨床運動学		2								理学療法各論 VII (呼吸循環代謝)		2							
人間発達学		1								理学療法各論 VIII (疾患別)		2							
人体の構造と機能		2								理学療法各論 IX (症例検討)		1							
病理学		2								義肢装具学		2							
内科学 I		2								日常生活活動		1							
内科学 II		1								疾患別日常生活活動		2							
臨床検査概論		1								生活環境論		1							
薬理学		1								地域理学療法学		2							
臨床心理学		2								地域リハビリテーション実習		1							
整形外科 I		2								臨床実習 I		4							
整形外科 II		1								臨床実習 II		20							
臨床神経学 I		2								履修単位									
臨床神経学 II		1								基礎分野:15 専門基礎分野:45 専門分野(臨床実習を除く):44 臨床実習:25									
精神医学		2								総取得単位数:129									
小児科学		2																	
医学概論		1																	
リハビリテーション医学		1																	
公衆衛生学		1																	
地域リハビリテーション		2																	

1年次GPA	2年次GPA	3年次GPA
0.00	0.00	0.00
3.5~4.0	A	A
3.0~3.5	B	B
2.5~3.0	C	C
2.0~2.5	D	D
~1.9	E	E

GPA:
各科目の成績から特定の方式によつて算出された学生の成績評価値

《判定基準》
優=80点以上 良=70~79点 可=60~69点 不可=59点以下 ★=出席日数不足
*可=再試にて可 #可=追試にて可 **可=進級判定会議にて可

(通信欄) 学校より

保護者:

学校長	学科長	保認者

(成績表 見 本)

作業療法学科 学籍番号 名前

科 目	単位数	1学年		2年		3年		GPA	科 目	単位数	1学年		2年		3年		GPA
		前期	後期	前期	後期	前期	後期				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
☆ 基 礎 分 野 ☆									☆ 専 門 分 野 ☆								
心理学	2								作業療法概論Ⅰ	3							
法学	2								作業療法概論Ⅱ	1							
臨床美術	2								基礎作業学	1							
社会福祉学	2								基礎作業学演習Ⅰ	1							
社会科学論	1								基礎作業学演習Ⅱ	2							
医療倫理	1								臨床作業療法学	1							
情報処理	1								総合作業療法学	2							
医学英語	1								作業療法管理学	2							
精神保健学	2								身体障害作業療法Ⅰ	2							
保健体育	1								精神障害作業療法Ⅰ	2							
☆ 専 門 基 礎 分 野 ☆									発達障害作業療法Ⅰ	2							
解剖学Ⅰ(骨格)	2								老年期障害作業療法Ⅰ	2							
解剖学Ⅱ(筋肉)	2								筋骨格測定法Ⅰ	2							
解剖学Ⅲ(神経・脈管)	2								筋骨格測定法Ⅱ	2							
解剖学Ⅳ(内臓)	2								身体障害作業療法Ⅱ	4							
体表解剖	1								精神障害作業療法Ⅱ	2							
生理学Ⅰ	3								発達障害作業療法Ⅱ	1							
生理学Ⅱ	2								老年期障害作業療法Ⅱ	2							
基礎運動学	2								高次神経障害作業療法Ⅰ	1							
臨床運動学	2								高次神経障害作業療法Ⅱ	1							
人間発達学	2								日常生活援助技術Ⅰ	2							
人体の構造と機能	2								日常生活援助技術Ⅱ	1							
病理学	2								職業関連活動援助技術	1							
内科学Ⅰ	2								福祉・機器活用援助技術Ⅰ	1							
内科学Ⅱ	1								福祉・機器活用援助技術Ⅱ	1							
臨床検査概論	1								義肢活用援助技術	1							
薬理学	1								装具活用援助技術	1							
臨床心理学	2								地域作業療法学総論	4							
整形外科Ⅰ	2								地域リハビリテーション実習	1							
整形外科Ⅱ	1								臨床実習Ⅰ	4							
臨床神経学Ⅰ	2								臨床実習Ⅱ-①	10							
臨床神経学Ⅱ	1								臨床実習Ⅱ-②	10							
精神医学	2								履修単位 基礎分野:15 専門分野(臨床実習を除く):48 臨床実習:25								
精神医学Ⅱ	1								総取得単位数:135								
小児科学	2								1年次GPA 2年次GPA 3年次GPA								
医学概論	1								0.00 0.00 0.00								
リハビリテーション医学	1								GPA:								
公衆衛生学	1								3.5~4.0 A A A								
地域リハビリテーション	2								3.0~3.5 B B B								
									2.5~3.0 C C C								
									2.0~2.5 D D D								
									~1.9 E E E								

《判定基準》
良=70~79点 可=60~69点 不可=59点以下 ★=出席日数不足
優=80点以上 #可=再試にて可 保留=再試にて不可 **可=進級判定会議にて可

(通信欄)

保護者:

学校長	学科長	保護者

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仙台リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人仙台北学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.senreha.ac.jp/basic_information/2024zaimuhoukoku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.senreha.ac.jp/basic_information/2024zaimuhoukoku.pdf
財産目録	https://www.senreha.ac.jp/basic_information/2024zaimuhoukoku.pdf
事業報告書	https://www.senreha.ac.jp/basic_information/2024jigyuhoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.senreha.ac.jp/basic_information/2024zaimuhoukoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		1365 時間	675 時間	1215 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
3 年		3255 時間	3255 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
195 人		187 人	0 人	8 人	0 人		8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

次年度の授業計画の立案については、前年度1月に実施する教員会議において、担当教員の選定を行います。その上で、学科毎に仮シラバスを作成し再度教員会議にて授業内容のつき合せ、学生評価が適切に実施できているかの相互確認を実施し作成します。

年度開始前にHPにて公表するとともに、年度はじめの学生オリエンテーションにて該当学生へのシラバス配布ならびに説明を実施しています。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価の基準

各科目の総合成績は100点を満点とし次の区分にて評定します。

優：80点以上

良：70～79点まで

可：60～69点まで

不可：59点以下

やむを得ず試験を受けることが出来なかった者は追試験を受験することができます。

また不可の科目については再学習を徹底させたのち申請にて再試験を受験することができます。

授業科目の出席時間数が講義及び演習及び実習において 5 分の 4 に達しない者は、その科目について評定を受けることができません。（ただし学校長が認める正当な理由がある場合にはこの限りではありません。）

成績評価の方法

授業科目の成績評定は各学期末に行う試験・実習の成績・履修状況等を総合的に勘案して、試験やレポート・OSCE によって行います。また、試験の結果は各学科責任者（学科長）によって適正に試験が実施されたか確認を得ています。最終的な単位の認定は学年末に実施される単位認定会議にて協議のもと学校長によって認定され、進級ならびに卒業が認定されます。

学修が適切になされているかを授業経過の中で小テスト等を用いて評価し、必要に応じて補習・補講を実施するなど学生の学習成果を随時確認するように努力しています。欠席した授業については補填課題等を確実に実施し授業内容を適切に理解した状態で単位を認定させています。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定について

本校の教育理念として、確かな知識と豊かな感性を育み、障害を持つ人々や高齢者のよき援助、支援者として主体的に活動できる学生の育成を目的としています。予防としての保健活動やスポーツ活動・リハビリテーション医療や地域リハビリテーションなど、全体を通して活躍する理学療法士の養成を目指しています。

このことから本校の卒業の認定においては、所定の授業科目のすべての試験に合格し、かつ卒業要件を満たす単位を履修したものについて卒業判定会議を経て学校長が卒業を認定します。

学修支援等

（概要）

担任制度を設けることにより、学生個人の能力や課題を認知しやすくしています。また通年を通して個人面談を実施し、学生個人の理解度の聴取や自宅学習などについての指導を実施しています。

授業の時間以外に補習・補講を実施し、学生の理解不十分な科目について支援を実施しています。

授業の形態についてもアクティブラーニングを多用し、自ら学び理解するという学習意欲の向上ならびに知識の定着環境を意図的に設けています。

国家試験への対策として特別講義等を実施しています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
65 人 (100%)	0 人 (0%)	58 人 (89.2%)	7 人 (10.8%)

（主な就職、業界等）

病院、診療所、介護老人保健施設などの医療・介護施設

(就職指導内容)
3 年次に就職セミナーを複数回実施し、就職活動の進め方や、面接、小論文の書き方等を指導
(主な学修成果(資格・検定等))
理学療法士国家試験 受験資格、福祉住環境コーディネーター、アートセラピスト上級認定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
199 人	8 人	4%
(中途退学の主な理由)		
進路の変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
入学前教育を実施しています。入学前教育の目的として、①学習意欲の継続－入試／合格発表から入学までの約半年間あり、この期間でこれまでの学習習慣を崩さないようにします。②新たな学びの事前学習－医療系は高校までの内容とは違い専門的な内容を多く学ぶため、学習内容のカルチャーショックを軽減します。③入学までに心の不安を軽減－学習内容の専門性以外にも生活環境が大きく変わる学生のために心理的ケアを実施します。大きく3つの目標を達成するために、具体的には専門科目の学習に緩やかに移行できるようCBT(Webコンテンツ)やテキストを提供します。また、スクーリングとして入学までに3回程度来校させ、事前学習の進捗確認や理解度テストを実施します。また、保護者を含め面談を実施します。 初年次教育に力を入れている。本学園の学術交流協定校である学校法人智晴学園琉球リハビリテーション学院(儀間智理事長／沖縄県国頭郡金武町)の全面協力のもと、3泊4日の共同生活・協同活動を通して、新入生に対する入学前教育から初年次教育への円滑な移行を図るとともに、海洋リハビリテーションを体験する総合的教育プログラムであります。また、同学院の学生及び教職員との交流の場も設けられ、同志が身近にいることを肌で感じることで士気の維持向上につながります。そして、アメリカンビレッジや美ら海水族館などの観光も含まれており、学修以外の時間も多く配分され、本学生と教職員がより多くの時間を共有することで、その後における教育効果を期待しています。 在学中は定期的な面談の中で、学生の学習意欲や家族的な背景について情報収集を行い、継続的な学習が困難と予想される学生については頻回に面談を実施しています。また、その情報はすべての教員にて共有され、多角的な支援を目指しています。また、早期から保護者への連絡や面談を実施し、情報の共有や支援の要請を実施しています。 友人関係などを豊かにし共に学ぶことのできる円滑な学修環境を整えるために、学外での課外活動などを年に複数回実施し、学生同士の仲間づくり支援を実施しています。臨床心理や学生心理について習熟している教員を配置し、完全に守秘義務の発生する環境での相談体制をとっています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	作業療法学科	○	
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類	

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
			1470 時間	495 時間	1320 時間	時間	時間
3 年	昼間	3 2 8 5 時間	3 2 8 5 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75 人		64 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

次年度の授業計画の立案については、前年度 1 月に実施する教員会議において、担当教員の選定を行います。その上で、学科毎に仮シラバスを作成し再度教員会議にて授業内容のつき合せ、学生評価が適切に実施できているかの相互確認を実施し作成します。

年度開始前に HP にて公表するとともに、年度はじめの学生オリエンテーションにて該当学生へのシラバス配布ならびに説明を実施しています。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価の基準

各科目の総合成績は 100 点を満点とし次の区分にて評定する

優：80 点以上

良：70～79 点まで

可：60～69 点まで

不可：59 点以下

やむを得ず試験を受けることが出来なかった者は追試験を受験することができます。

また、不可の科目については再学習を徹底させたのち申請にて再試験を受験することができます。

授業科目の出席時間数が講義及び演習及び実習において 5 分の 4 に達しない者は、その科目について評定を受けることができません。（ただし学校長が認める正当な理由がある場合にはこの限りではありません。）

成績評価の方法

授業科目の成績評定は各学期末に行う試験・実習の成績・履修状況等を総合的に勘案して、試験やレポート・OSCE によって行います。また、試験の結果は各学科責任者（学科長）によって適正に試験が実施されたか確認を得ています。最終的な単位の認定は学年末に実施される単位認定会議にて協議のもと学校長によって認定され、進級ならびに卒業が認定されます。

学修が適切になされているかを授業経過の中で小テスト等を用いて評価し必要に応じて補習・補講を実施するなど学生の学習成果を随時確認するように努力しています。

欠席した授業については補填課題等を確実に実施し授業内容を適切に理解した状態で単位を認定させています。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定について

本校の教育理念として、確かな知識と豊かな感性を育み、障害を持つ人々や高齢者のよき援助、支援者として主体的に活動できる学生の育成を目的としています。予防としての保健活動やスポーツ活動・リハビリテーション医療や地域リハビリテーションなど、全体を通して活躍する作業療法士の養成を目指しています。

このことから本校の卒業の認定においては、所定の授業科目のすべての試験に合格し、かつ卒業要件を満たす単位を履修したものについて卒業判定会議を経て学校長が卒業を認定します。
学修支援等 (概要) 担任制度を設けることにより、学生個人の能力や課題を認知しやすくしています。また、通年を通して個人面談を実施し、学生個人の理解度の聴取や自宅学習などについての指導を実施しています。 授業の時間以外に補習・補講を実施し、学生の理解不十分な科目について支援を実施しています。 授業の形態についてもアクティブラーニングを多用し、自ら学び理解するという学習意欲の向上ならびに知識の定着環境を意図的に設けています。 国家試験への対策として特別講義等を実施しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (92%)	2 人 (8%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所、介護老人保健施設などの医療・介護施設			
(就職指導内容) 3 年次に就職セミナーを複数回実施し、就職活動の進め方や、面接、小論文の書き方等を指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家試験 受験資格、福祉住環境コーディネーター、アートサポート上級認定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	2 人	2.9%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育を実施しています。入学前教育の目的として、①学習意欲の継続－入試／合格発表から入学までの約半年間あり、この期間でこれまでの学習習慣を崩さないようにします。②新たな学びの事前学習－医療系は高校までの内容とは違い専門的な内容を多く学ぶため、学習内容のカルチャーショックを軽減します。③入学までに心の不安を軽減－学習内容の専門性以外にも生活環境が大きく変わる学生のために心理的ケアを実施します。大きく 3 つの目標を達成するために、具体的には専門科目の学習に緩やかに移行できるよう C B T（Web コンテンツ）やテキストを提供します。ま		

た、スクーリングとして入学までに3回程度来校させ、事前学習の進捗確認や理解度テストを実施します。また、保護者を含め面談を実施します。

初年次教育に力を入れています。本学園の学術交流協定校である学校法人智晴学園琉球リハビリテーション学院(儀間智理事長／沖縄県国頭郡金武町)の全面協力のもと、3泊4日の共同生活・協同活動を通して、新入生に対する入学前教育から初年次教育への円滑な移行を図るとともに、海洋リハビリテーションを体験する総合的教育プログラムであります。また、同学院の学生及び教職員との交流の場も設けられ、同志が身近にいることを肌で感じることで士気の維持向上につながります。そして、アメリカンキャンピレッジや美ら海水族館などの観光も含まれており、学修以外の時間も多く配分され、本学生と教職員がより多くの時間を共有することで、その後における教育効果を期待しています。

在学中は定期的な面談の中で、学生の学習意欲や家族的な背景について情報収集を行い、継続的な学習が困難と予想される学生については頻回に面談を実施しています。また、その情報はすべての教員にて共有され、多角的な支援を目指しています。また、早期から保護者への連絡や面談を実施し、情報の共有や支援の要請を実施しています。

友人関係などを豊かにし共に学ぶことのできる円滑な学修環境を整えるために、学外での課外活動などを年に複数回実施し、学生同士の仲間づくり支援を実施しています。臨床心理や学生心理について習熟している教員を配置し、完全に守秘義務の発生する環境での相談体制をとっています。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理学療法学科	150,000 円	950,000 円	600,000 円	実習費 600,000 円
作業療法学科	150,000 円	950,000 円	600,000 円	実習費 600,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/2024_jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者評価委員会が報告された自己評価報告書に対して協議・評価し学校評価報告書を作成・報告します。

体制： 学校長が関係業界関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者に委員を委託します。 主な評価項目： ①教育理念・目標、②学校運営、③教育活動、④学修成果、⑤学生支援、⑥教育環境、 ⑦学生の受入れ募集、⑧財務、⑨法令の遵守、⑩社会貢献・地域貢献、⑪国際交流 活用方法： ①運営、②自己評価、③学校関係者評価をPDCAサイクルで実施します。 ②自己評価及び③学校関係者評価を適時実施（最低年1回）は実施します。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
宮城県理学療法士会 会長	自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日	関係業界関係者
宮城県作業療法士会 副会長	自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日	関係業界関係者
宮城県作業療法士会 副会長	自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日	関係業界関係者
宮城県立がんセンター	自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日	関係業界関係者
医療法人 理事長（医師）	自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日	関係業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/2024_gakkoukankeisya.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.senreha.ac.jp/basic_infomation/2024_gakkoukankeisya.pdf
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H104391050028
学校名 (〇〇大学 等)	仙台リハビリテーション専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人仙台北学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		31人（ ）人	27人（ ）人	32人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	9人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	9人	11人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	9人	5人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	2人	2人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ ）人
合計（年間）				0人（ ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期
		人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。